

ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」
国指定重要無形民俗文化財「青柏祭の曳山行事」



能登七尾

青柏祭

下か山

5月
3.4.5日

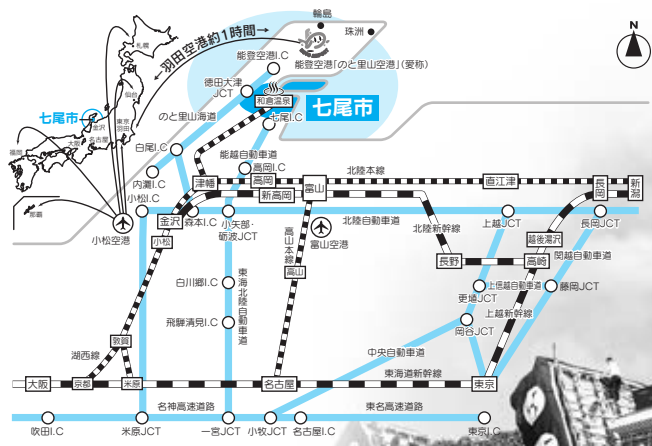


でか山位置情報

(午後9時から)

七尾市・七尾市観光協会・青柏祭でか山保存会

交通アクセス



- 自動車利用**
 東京から／東名・名神・北陸自動車道・のと里山海道にて……………約7時間30分
 関越・北陸自動車道・能越自動車道にて……………約6時間30分
 大阪から／名神・北陸自動車道・のと里山海道にて……………約5時間
 名古屋から／名神・東海北陸自動車道・能越自動車道にて……………約4時間
 名神・北陸自動車道・のと里山海道にて……………約4時間
 (北陸自動車道「金沢森本I.C.」からのと里山海道をご利用いただくも便利)
 金沢から／のと里山海道にて……………約1時間20分
 富山から／北陸自動車道・能越自動車道にて……………約1時間30分
 高岡から／能越自動車道にて……………約50分
- JR利用**
 東京から／北陸新幹線「かがやき」で金沢乗り換え。
 特急「能登かがり火」利用……………約3時間35分
 大阪から／特急「サンダーバード」で金沢乗り換え。
 特急「能登かがり火」利用……………約3時間40分
 名古屋から／特急「しらすぎ」で金沢乗り換え。
 特急「能登かがり火」利用……………約4時間
 金沢から／特急「能登かがり火」利用……………約1時間
- バス利用**
 高岡から／加越能バスが運行する「わくライナー」にて……………約1時間30分
 ※北陸新幹線「はくたか」が停車する新高岡駅を経由する
 「高岡-氷見-和倉温泉」間の路線バス
 ※北陸新幹線「かがやき」は「新高岡駅」には停車しません。
- 飛行機利用**
 能登空港着 ■東京(羽田)から……………約1時間
 *ふるさとタクシーご利用で約60分(七尾市内まで1,600円)
 能登空港発着便に合わせてご利用できます。(要予約)
 中島タクシー ☎(0767)66-0114
 小松空港着 ■東京(羽田)……………約1時間
 ■札幌(千歳)……………約1時間30分
 ■仙台……………約1時間
 ■福岡……………約1時間20分
 ■沖縄(那覇)……………約2時間10分

【お問い合わせ】
 〒926-8611 石川県七尾市袖ヶ江町イ部25番地
七尾市産業部観光交流課
 TEL(0767)53-8424 FAX(0767)52-2812 E-mail:kankou@city.nanao.lg.jp

【はじめに】

青柏祭は、平安時代の天元4年(981)に時の国主源順が能登の国祭りとして定めたのが始まりと言われる。能登畠山氏3代城主義統は、京文化の移入に熱心で、都の祇園山鉾にちなって文明5年(1473)国祭りの青柏祭に曳山(山車)を奉納したのが、でか山の始まりと伝えられている。江戸時代の一時期には曳山の高さは18mもあった。

【みどころ：辻廻し】

狭い街角で、巨大な曳山を方向転換させるシーンは見逃せない。掛け声も勇ましく長さ8mの大楯子に若連中が鈴なりになって曳山の前車輪を浮かせ、地車を入れて辻を曲がる。

魚町



魚町は、天正14(1586)年に利家から魚の専売権が許された。その後、小丸山城築城の際に崇徳篤い本宮さん(能登生国玉比古神社)が明神野へ移転させられることとなった。

府中町



府中町は、天正10年に前田利家の軍が越中の魚津城を攻めたとき、能登宇出津の棚木城、穴水の甲山城が、越後の黒龍の長に攻められたとき、舟を出して利家軍に協力し、勝利に導いた。

鍛冶町



鍛冶町は、畠山氏治世の時代に城山山麓にあった鍛冶師集団が、前田氏が能登の領主になったのち、集団移住してつくりられ、鉄材を生産して小丸山城築城と城下町形成に貢献した。